

山陰観光 現在のホテル東光園と皆生温泉

2018年8月22日

山陰随一の弓ヶ浜に立つホテル東光園はいまどのようなになっているか。初期の構想がどのように活かされているのだろうか。所有者は変遷し増築もされている。玄関から入るとロビーの先に見える流政之氏による庭園と紫色のロビーのカーペットは当時のままであった。増築棟は流政之氏が関与しているとも聞いたが本館とかけ離れたデザインである。和風でありもうひとつの朝食ビュッフェ棟はコンクリートの箱である。朝食は大勢が詰め掛けていてさまざまな料理がいっせいにだされており、豪快ではある。客室は随所に和風のデザインが施されていて外観の近代的感覚とは無縁である。最上階のレストランフロアとその下のつり構造による屋外庭園は無残な有様で、放置されていた。初期の構想が使いきれていない。つり構造による船形の屋根と機能は所詮建築家の独善であったのかそれともオーナー側のレベルの低下が原因なのかはともかくとして、現在の皆生温泉におけるフラッグシップとしては機能していない。



創建当時と同じ外観



流政之の庭園



創建当時と同じロビー



使われていない屋上庭園



使われていない最上階



和風の客室